

2023年度 山梨英和プレストンこども園 自己評価

分類	内容	評価	備考
教育・保育指導	教職員は、園児理解に努めているか。	(A) ・ B ・ C	
	教職員は、教育・保育に関する十分な知識を有しているか。	(A) ・ B ・ C	
	教職員は、より良い教育・保育を実践する上で工夫、改善に努めているか。	A ・ (B) ・ C	
	教職員は、園児一人一人の個性に応じた教育・保育に努めているか。	(A) ・ B ・ C	
研究・創意工夫	教職員は、積極的に研修会等に参加し、新たな情報を入手し、教育保育に生かすなど自己研鑽に努めているか。	A ・ (B) ・ C	
	教職員は、子どもの関心、意欲を高めるため、新しい教材の開発など創意工夫に努めているか。	(A) ・ B ・ C	
	教職員は、同僚性を重視し、共に学び、高め合う姿勢ができていますか。	A ・ (B) ・ C	
子育ての支援	教職員は、保護者との好ましい人間関係づくりに努めているか。	(A) ・ B ・ C	
	教職員は、子育ての悩み等に関して適切な教育相談を実施しているか。	(A) ・ B ・ C	
	教職員は、保護者の悩み、相談等を園内できちんと報告し、共有し、組織として取り組むことができているか。	(A) ・ B ・ C	
共通	教職員は、園内の全ての業務について積極的に取り組んでいるか。(積極性)	(A) ・ B ・ C	
	教職員は、自己の職責を正しく理解し、教育に携わる者としての自覚と、強い責任感を有しているか。(責任感)	A ・ (B) ・ C	
	教職員は、他の職員との連携、協力を重視して、組織の一員として教育保育にあたっているか。(協調性)	(A) ・ B ・ C	
	教職員は、こども園の建学の精神を理解し、キリスト教教育・保育の実践に努めているか。(キリスト教保育)	A ・ (B) ・ C	

【評価欄の記入】 A：十分に達成されている。 B：ほぼ達成されている。 C：課題があり、達成されているとは言えない。

総評： 子どもたちの豊かな育ちを支えるために、保育教諭がチームになって教育保育をすすめることができた。子どもが主体性を持って活動できるよう、研究会を行いながら、保育教諭の学びを深めていきたい。